

課題別取り組み

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、「誰一人取り残されない」ことを目指し、2030年に求める将来の姿を描いています。「持続可能な開発目標(SDGs)」の17ゴールは、経済、環境、社会の側面から世界の幅広い課題に取り組むことを求めており、これらは、People (人間)、Planet (地球)、Prosperity (繁栄)、Peace (平和)、Partnership (連携)の「5つのP」としてとらえることができます。JICAは、開発途上国が直面する課題を右のとおり整理し、「5つのP」に取り組んでいます。

People、Planetの写真：今村健志朗
Prosperityの写真：久野真一
Partnership、Peaceの写真：久野武志

貧困と飢餓に終止符を打ち、
すべての人が平等で、
尊厳を持って健康に生きられる
環境を確保する

貧困削減

→ P.56

ジェンダーと開発

→ P.58

人間開発 (教育／社会保障／保健医療)

→ P.64-67

農村開発

→ P.72-75



持続可能な消費と生産、天然資源の管理、
気候変動対策などに取り組み、
地球環境を守る

気候変動対策

→ P.59

地球環境

(自然環境保全／環境管理／
水資源／防災)

→ P.68-71





すべての人の
豊かな生活を確保し、
自然と調和した
経済的・社会的・技術的な
進歩を目指す



社会基盤 [都市・地域開発/運輸交通/情報通信 (ICT)]

→ P.60-63

産業開発・公共政策 (民間セクター開発/資源・エネルギー/ガバナンス)

→ P.76-79

People
人間

Prosperity
繁栄

SDGs
5つのP

Partnership
連携

すべての
国・関係機関・人が、
目標達成のために
協力する



Planet
地球

Peace
平和

恐怖や暴力のない、平和で公正、かつ
すべての人を包み込んだ
社会を育む

平和構築
→ P.57

